

「挑戦3」次代につなぐ
「しごとづくり」
「産業・社会・生活のトランスフォーメーション(変化・変革)」

ちの希望を叶える環境を提供できるよう「スポーツ活動の機会づくり」と伝統・文化の継承、町の持続に必要な地域を支える多様な専門人材を確保するため「給付型奨学金の対象職種の拡充」を図って参ります。

4つ目は「みんなで支え合う環境づくり」です。

少子高齢化などにより、介護が必要な方が増加する一方、それを支える人材の不足が懸念されることから、医療・介護の専門スタッフや、自治会やご近所など、地域住民が一体となって支える「地域包括ケアシステムの充実」を図ります。

また、人口減少、高齢化が進む中、それぞれの地域における活動を支えコミュニティを維持するには共助の充実が重要であり、各地域と町とが連携して地域づくりを進めるため「協創のまちづくりの推進と地域力の向上」に努めて参ります。

このほか、介護が必要となった場合においても住み慣れた環境に近い状況で生活を続けられるよう、「共同住宅型介護施設の整備」を進めて参ります。

3点目の挑戦は、「次代につながるしごとづくり」。「産業・社会・生活のトランスフォーメーション」です。

先人たちが築き上げてきた町の産業をさらに発展させ、町の大限に活かした仕事づくりや観光振興を図るための施策に挑戦して参ります。

1つ目は「変革による産業の振興」であります。

町の基幹産業である酪農や林業をはじめ、農業、商工業、観光・サービス業など、各産業分野において稼げる仕組みづくりを進め、「町民所得の向上」と担い手の確保に努めて参ります。

酪農分野においては、100年先を見据えた持続可能な経営体制の構築を目指す「新葛巻型酪農構想の推進」に取り組み、効率的で経済性の高い酪農経営を支援します。

また、各分野において「デジタル技術を取り入れた効率的な

働き方の推進」に取り組み、作業の効率化、省力化を図ると共に、就労環境の改善、働き方改革が進むよう取り組んで参ります。また、高品質な農畜産物の生産に取り組みと共に「基幹産業の高付加価値化」を進め、葛巻町産農産物のブランド化と高収益化に取り組みで参ります。

この他、「協業化などによる持続可能な経営体の育成」や「高齢者の就労の場の拡充」など、社会構造の変化や町の現状に合った、産業・就労構造の改善に取り組みます。

2つ目は「若者・女性が活躍できる雇用の場の創出」です。

町の活気を創出するためには若者や女性の活躍が必要不可欠であり、また若者や女性が定着するためには、安定した雇用のほか、チャレンジすることができる環境が必要です。他方、既存産業を安定的に継続するためには、事業を継ぐ後継者の確保が重要であります。こうしたことから「技術の継承と継業支援」および「特定地域づくり事業協同組合事業の推進」に取り組み、しごと、仕事を求める若者と担い手確保を求めめる経営者

とのマッチングに努めて参ります。また、「自然エネルギー関連の企業誘致と起業支援」「新たな事業にチャレンジできる環境の整備と起業家支援」「地域おこし協力隊制度を活用した雇用の創出」など、多様な取り組みにより、新たな産業の創出と活性化を支援して参りたいと思っております。

3つ目は「観光交流の促進と賑わいづくり」であります。

葛巻町には雄大な自然、さまざまな観光スポットや特産品、くずまき鍋をはじめとした「食」などの魅力的な観光資源がたくさんあり、それらを効果的にPRする「町の魅力・情報の発信」に取り組みほか、くずまきDMO事業の取り組みをより一層推進し、交流人口・関係人口の拡大を図るため、「新たな魅力探求と観光資源の開発」に取り組みます。

また、統一的な考え方や取り組みによるブランディングを推進し、「町のイメージを高める取り組みによる認知度の向上」による葛巻ファンの増加と誘客促進につなげ、産業振興、地域

経済の活性化に波及効果が表れる取り組みとすると共に、移住定住者の確保に繋げて参りたいと考えています。

以上、町政運営を進めるにあたっての、私の所信の一端を述べさせていただきます。

5期目にあたり、これまで4期16年で培った経験や人脈を最大限に活かし、多選でなければ実現することができない政策の実現に挑戦して参る所存です。

私の信条、「夢しか実現するものはない」、この言葉を胸に、さまざまな事業の実現に果敢に挑戦して参りました。この先4年間も、これまでに取り組んできた各種施策にさらに磨きをかけてと共に、「新たな可能性に挑戦する、町民主体のまちづくり」「山村のモデルとなる光り輝くまちづくり」に全身全霊をかけて取り組み、町民が幸せを実感できる、住みよいまちの実現を目指して参ります。

町民の皆様、議員の皆様には、各種施策に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の所信表明とさせていただきます。

乳用牛の資質を競う

ホルスタイン共進会開催



△鈴木町長から表彰状を受け取る藤岡俊策さん



▽出品牛に鋭い視線を向ける吉田審査員(円内)と緊張した表情のリードマンの皆さん

第69回町ホルスタイン共進会は9月9日、くずまき高原牧場チャレンジハウスで開催され、56頭が出品されました。

藤岡俊策さんに表彰状

開会に先立ち、藤岡俊策さん(田代)の所有牛「ドリームランチャツキーヒーマゴ」が、一般社団法人日本ホルスタイン登録協会の体型的審査においてエクセレント6回の榮譽に輝いたことを受け、町ホルスタイン共進会実行委員長の鈴木重男町長から表彰状が贈られました。

エクセレントは100点満点の審査で90点以上を獲得し、さらに高い基準の泌乳能力が認められた牛にのみ贈られる称号で、6回の受賞は全国でもまれな名牛です。藤岡さんは「この表彰は酪農家人生で最高の名誉です。若い酪農家の皆さんには、仲間同士の絆を大切に切磋琢磨してほしい」と話していました。

名誉賞の2氏が感謝と抱負

共進会では、吉田智貴審査員(北



△名誉賞を受賞した中村大地さん(右)と(株)Peace Valley Dalryの八幡勝幸さん
▽ジュニアの部では子どもたちもリードマンに挑戦

海道土士幌町)が出品牛の資質能力を厳正に審査しました。その結果、未經産牛の部では中村大地さん(橋場)が、経産牛の部では(株)Peace Valley Dalry(八幡勝幸代表・星野)が名誉賞に輝きました。

中村さんは「今回受賞した牛は町の支援で導入した優良受精卵で、関係者の皆さんに感謝している」と喜び、八幡さんは「良い牛をつくるために良いエサをつくることを、これからも社員一同頑張りたい」と抱負を語っていました。

各部1等賞受賞者(敬称略)

- ★名誉賞 ★准名誉賞
- 未經産牛の部
- ▽ジュニアの部 (株)Peace Valley Dalry (八幡勝幸代表・星野)
- ▽第1部 (株)GRFホルスタインズ(折元大樹代表・遠矢場)★
- ▽第2部 中村大地(橋場)
- ▽第3部 中村大地★
- ▽第4部 中村大地
- 経産牛の部
- ▽第5部 今待秀幸(四日市)
- ▽第6部 岩泉 篤(寺田)
- ▽第7部 岩泉 篤
- ▽第8部 (株)GRFホルスタインズ
- ▽第9部 (株)GRFホルスタインズ★
- ▽第10部 (株)Peace Valley Dalry★
- 牛群
- ▽第11部 (株)Peace Valley Dalry

第67回岩手県畜産共進会ホルスタイン種

- 本町入賞者 (★准名誉賞)
- 【未經産牛の部】▽中村大地(第2部1席★、第3部1席、第5部1席)
- ▽(株)GRFホルスタインズ(第2部2席)
- 【経産牛の部】
- ▽岩泉篤(第7部2席、第8部1席★)▽(株)Peace Valley Dalry(第10部1席)